

平成 24 年度 図書館モデル公開授業 研究実践校  
札幌市立常盤小学校 第 3 学年の実践

3 年国語科「本は友だち」

～おすすめの本をPOPで伝えよう（絵で表すPOP）～



学習のねらい

- ・紹介したい本を選び、絵で表すPOPを作って伝える活動を通していろいろな本や文章を目的に応じた読み方で読むことができる。

主な学習活動

【第 1 次…知る・試す（学校での講座）】<POPって何だろう？>

- 1) 絵本作家の Tamayuki 氏を講師に迎え、POP の解説および絵で表すPOP 作品を紹介していただいた。

POP の役割

- ①本の情報提供 ②選びやすくする ③楽しませる

POP 作りで大切なこと

- 読ませたい人を決める ○伝えたいことを一つにしぼる
- 自分がわくわくして作る



- 2) 本の魅力を絵で表す練習として、簡単なお話「マフラーの好きなおしゃれな雪だるま」の読み聞かせの後、紹介したい場面を絵で表す実習を行った。（写真①②）

- 3) 講師による講評と児童の感想による交流。

- 4) 紹介したい本を学校図書館で選ぶ活動。

【第 2 次…作る（中央図書館での活動）】<POPで表そう>

◇自分たちが選んだ本の紹介に向け、絵で表すPOP づくりの活動

- 1) 中央図書館で本を選び、貸出をする活動。（写真③）

（紹介用 1 冊、好きな本 1 冊）

- 2) 自分が選んだ本を絵で紹介するPOP を作る活動。（写真④⑥）



- 自分の好きな場面や印象的な場面を絵で表し、紹介する。
- 作品名の書き方やキャッチフレーズの工夫。

- 3) つくったPOP を発表し合う活動。

◇本校司書ボランティアによる読み聞かせによる本の世界を広げる活動。（書画カメラ+プロジェクタで鑑賞）

絵本「クリスマスにくつしたを下げるわけ」他（写真⑤）



授業の成果と課題

- ・児童は出前講座の講師との触れ合いを通じ、形や色で表すPOP の楽しさを理解し、意欲的に取り組むことができた。児童の絵画表現力や技能には差があるため、講師による短い読み聞かせから簡単な絵で表す実習を第 1 次の活動で設定したことは、その後の活動に向けて大変効果的であった。

# 札幌市立常盤小学校 第4学年の実践

## 4年国語科「本は友達」

～すてきなPOPを考えよう（言葉で表すPOP）～



### 学習のねらい

- ・紹介したい本を選び、POPを作って紹介する言語活動を通して、いろいろな本や文章を目的に応じた読み方で読むことができる。



### 主な学習活動

#### 【第1次…学校での講座】 <POPって何だろう？>

- ◇「くすみ書房」の久住 邦晴社長を講師に迎え、作家・編集・流通など本に携わる多くの人々のかかわりや工夫によって本ができることの素晴らしさを教えていただいた。(写真①)
- ◇POPの魅力やキャッチフレーズ、POP文字の書体、色、効果的な構成などの効果について詳しく解説していただき、実際のPOP(写真②)や昨年度の作品(写真③)を鑑賞してイメージをもつ。



#### 【第2次…中央図書館での活動】 <すてきなPOPを考えよう>

- ◇自分たちが選んだ本の魅力的な紹介に向けたPOPづくりの活動
- 1) 中央図書館で本を選び、貸出をする活動。
- 2) 学校での講座の振り返りとPOPづくりのポイントを久住さんに教えていただく。(写真④)

- 伝えたい対象を想定する相手意識の大切さ
- 本の内容や自分の伝えたい思いを端的に表すフレーズ…など



- 3) 相手意識や伝えたい自分の思いなどをよく考え、紹介したい本のPOPを作る活動。(写真⑤)
- 4) できた作品を鑑賞し合い、発表する活動。(写真⑥⑦)  
\*久住さんの講評と児童の感想。



### 授業の成果と課題

- ・本の紹介に向け、自分の伝えたい思いを魅力的な表現にするために、「言葉」について深く考える必要感が備わった、効果的な言語活動となった。言葉によるPOPづくりを軸とした学習は2年目であるが、昨年度の作品が導入段階での良い教材となり、POPのイメージもつかみやすかった。学習を通じ、言葉の吟味や表現の工夫の面でより練られたものが多く見られるようになった。